

微生物学・免疫学Ⅱ

担当講座（分野）：微生物学講座（分子微生物学分野）

第3学年 前期

前期 講義 13.5 時間 演習 3.0 時間 実習 27.0 時間

教育成果（アウトカム）

歯科医師として最大のターゲットとなる齲蝕と歯周病はともに口腔細菌による感染症であることから、その成立には微生物側の因子のみならず、口腔という局所の環境因子をも含めた宿主側の因子が大きく作用する。その他の口腔感染症をも含め、病因論に立脚した口腔感染症の知識、検証技術を習得し、さらに生命科学の一分野としての口腔微生物学・免疫学についての理解が深まる。（ディプロマ・ポリシー：4、8）

事前学修内容及び事前学修時間（30分）

シラバスに記載されている次の授業内容を確認し、教科書・DESS等を用いて事前学修（予習・復習）を行うこと。各授業に対する学修の時間は最低30分を要する。本内容は全授業に対して該当するものとする。演習時は講義ノートを提出するものとし、評価の上返却する。

講義日程（講義はすべてディスカッション方式により行う。）

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
4月6日(月) 2限	佐々木実教授	フローラ 人体の正常フローラについて理解する。	1. 人体各部の正常フローラについて説明できる。 2. 正常フローラと日和見感染症について説明できる。 [C-3-1)-①②]
4月13日(月) 2限	石河太知助教	口腔フローラ 口腔の正常フローラについて理解する。	1. 口腔のニッチとその構成細菌について説明できる。 2. 内因感染症について説明できる。 [C-3-1)-①②, E-2-3)-③]
4月20日(月) 2限 5月11日(月) 2限	下山佑講師	齲蝕の細菌・免疫学 齲蝕病原性細菌の性状と齲蝕成立機序を理解する。	1. ミュータンスレンサ球菌の病原因子について説明できる。 2. 齲蝕の成立機序について説明できる。 3. 齲蝕成立機序に関わる宿主免疫系について説明できる。 4. 齲蝕免疫について説明できる。 [C-3-1)-①②, E-3-2)-①⑤]

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
5月18日(月) 2限	佐々木実教授 下山佑講師 石河太知助教	微生物学演習 1 講義、実習で修得した知識を確実なものとして深化させ、問題解決能力の基礎を身につける。	1. 講義、実習で理解できなかった項目を列挙できる。 2. 理解できなかった項目の学習方法を説明できる。 3. 理解できなかった項目について学習し、説明できる。 4. 提示された課題の問題点を列挙できる。 5. 提示された課題についての学習方法を説明できる。 6. 提示された課題の学習を通して、自ら新たな問題点を見出すことができる。 [C-3-1)-①②, E-2-3)-③, E-3-2)-①⑤] 事前学習：これまでの講義内容に準じる領域のポートフォリオを作成し、同領域のDESS演習を行い講義に臨むこと。
5月25日(月) 2限 6月1日(月) 2限	下山佑講師	歯周疾患の細菌・免疫学 歯周病原性細菌の性状と歯周疾患の成立機序を理解する。	1. 歯周病原性細菌の性状とその病原因子について説明できる。 2. 歯周疾患の成立機序について説明できる。 3. 歯周疾患における Host-parasite relationship について説明できる。 [C-3-1)-①②, E-3-2)-④⑤]
6月8日(月) 2限	下山佑講師	歯内疾患の細菌・免疫学 歯内疾患の原因細菌の性状と歯内疾患の成立機序を理解する。	1. 歯内疾患の原因細菌の性状とその病原因子について説明できる。 2. 歯内疾患の成立機序について説明できる。 3. 歯内疾患における Host-parasite relationship について説明できる。 [C-3-1)-①②, E-3-2)-③⑤]
6月15日(月) 2限	下山佑講師	その他の口腔感染症と微生物、院内感染 その他の口腔感染症、およびその原因菌について理解する。院内感染について理解する。	1. 齲蝕、歯周疾患を除くその他の口腔感染症について説明できる。 2. その他の口腔感染症の原因微生物について説明できる。 3. その他の口腔感染症における Host-parasite relationship について説明できる。 4. 歯科医療における院内感染とその予防法について説明できる。 [C-3-1)-①②, E-2-4)-(3)-①]
6月26日(金) 1限	佐々木実教授	微生物の検出と感染症の診断 微生物検査法とその原理について理解する。	1. 細菌の染色方法について説明できる。 2. 細菌の培養法、同定法を説明できる。 3. 免疫学的血清診断法を説明できる。 [C-3-1)-①②, E-1-1)-①]

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
6月30日(火) 4限	佐々木実教授 下山佑講師 石河太知助教	微生物学演習 2 講義、実習で修得した知識を確実なものとして深化させ、問題解決能力の基礎を身につける。	1. 講義、実習で理解できなかった項目を列挙できる。 2. 理解できなかった項目の学習方法を説明できる。 3. 理解できなかった項目について学習し、説明できる。 4. 提示された課題の問題点を列挙できる。 5. 提示された課題についての学習方法を説明できる。 6. 提示された課題の学習を通して、自ら新たな問題点を見出すことができる。 [C-3-1)-①②, E-1-1)-①、E-2-4)-(3)-①、E-3-2)-③~⑤] 事前学習：これまでの講義内容に準じる領域のポートフォリオを作成し、同領域のDESS演習を行い講義に臨むこと。

一般目標 (実習)

微生物学・免疫学実習では、微生物の分離・同定法とビルレンス因子の性状解析を体験することにより、微生物学・免疫学の講義で修得した知識が深化する。さらに、自らの口腔内からのう蝕病原性細菌の分離、同定、性状解析を通じて、修得した知識を統合して、病因論からの歯科治療戦略が身につく。

実習日程

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
4月6日(月) 3、4限	佐々木実教授 下山佑講師 石河太知助教	一般微生物学実習の概要と基本操作 一般微生物学実習の内容と到達点を理解する。	1. 培地と細菌培養法について説明できる。 2. コロニー形態とグラム染色について説明できる。 3. 空中細菌と手指細菌の検査法について説明できる。 [C-3-1)-①②] 事前学習：実習内容に準じる領域の教科書・ポートフォリオを熟読し、実習に臨むこと。
4月13日(月) 3、4限 4月20日(月) 3、4限	佐々木実教授 下山佑講師 石河太知助教	化膿球菌の同定と性状解析 化膿球菌の性状、ビルレンス因子について知識を体得し、同定法への応用を理解する。	1. A群レンサ球菌とビリダンスレンサ球菌の性状について説明できる。 2. 黄色ブドウ球菌とコアグラゼ陰性ブドウ球菌の性状について説明できる。 3. レンサ球菌とブドウ球菌の性状の違いについて説明できる。 [C-3-1)-①②] 事前学習：実習内容に準じる領域の教科書・ポートフォリオを熟読し、実習に臨むこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
5月11日(月) 3、4限	佐々木実教授 下山佑講師 石河太知助教	齧蝕病原性細菌の同定と 性状解析、および歯周病原 細菌の性状検査	1. 口腔レンサ球菌の分類とニッチについて説明できる。 2. ミュータンスレンサ球菌の性状について説明できる。 3. <i>S. mutans</i> と <i>S. sobrinus</i> の違いについて説明できる。 4. 歯周病原細菌の病原因子について説明できる。 [C-3-1)-①②、E-2-3)-③、E-3-2)-①③～⑤]。 事前学習：実習内容に準じる領域の教科書・ポートフォリオを熟読し、実習に臨むこと。
5月18日(月) 3、4限			
5月25日(月) 3、4限			
6月1日(月) 3、4限	佐々木実教授 下山佑講師 石河太知助教	免疫応答と抗原抗体反応 試験	1. 免疫応答、免疫反応について説明できる。 2. 自然免疫について説明できる。 3. 獲得免疫について説明できる。 4. 抗原抗体反応について説明できる。 [C-3-1)-①②、C-3-2)-①～③] 事前学習：実習内容に準じる領域の教科書・ポートフォリオを熟読し、実習に臨むこと。
6月8日(月) 3、4限			
6月15日(月) 3、4限	佐々木実教授 下山佑講師 石河太知助教	口腔微生物学実習検討会 および実習試験	1. 人体および口腔の正常フローラについて説明できる。 2. 感染症の成立機序とその予防法について説明できる。 3. 口腔細菌感染症としての齧蝕と歯周病の成立機序について説明できる。 4. 免疫応答、免疫反応について説明できる。 [C-3-1)-①②、C-3-2)-①～③、E-2-3)-③、E-3-2)-①③～⑤] 事前学習：これまでの実習内容を理解し、検討会および実習試験に臨むこと。

教科書・参考書 (教：教科書 参：参考書 推：推薦図書)

	書 名	著者氏名	発行所	発行年
教	口腔微生物学・免疫学 第4版	川端重忠ほか 編	医歯薬出版	2016年
参	ロアット カラー基本免疫学	ピーター・J・デルヴスほか 著	西村書店	2011年
参	口腔内科学	尾崎登喜雄 編	飛鳥出版室	2008年
推	病原体とヒトのバトル:攻撃・防御そして共生へ	山田 毅著	医歯薬出版	2005年

成績評価方法

講義：小テストおよび授業態度 -----	10%
前期試験 -----	90%
実習：出席 -----	20%
レポート、口頭試問 -----	20%
実習試験 -----	60%

特記事項・その他

一般的な講義に加え、少人数による演習を取り入れる。演習の後に小テストを行い、到達度を確認する。結果は時間内にフィードバックし、口頭試問、解説および補足講義を行い、知識の確実な定着をはかる。また、講義終了毎にポートフォリオの作成を課し、自学自習の習慣と知識の集約化をはかる。次回の演習時に確認、評価するとともにコメントを付けてフィードバックする。講義前後に関連領域の DESS 演習を用いた自己学習を行うこととする。

授業に使用する機械・器具と使用目的

使用機器・器具等の名称・規格		台数	使用区分	使用目的
二槽式アルミバス	ALB-301	1	基礎実習・研究用機器	実習に使用する試薬の調製
分光光度計制御用パソコン一式	FMV-BIBLO FMVNE460R3	1	基礎実習・研究用機器	実習における細菌の成長の測定
実体顕微鏡一式	SZ4045他	3	基礎実習専用機器	実習における細菌コロニーの観察
コピー機	imageRunner IR2210F	1	基礎実習・研究用機器	講義・実習資料の作成
バイオメディカルフリーザー一式	MDF-U442特型	1	基礎実習・研究用機器	実習用菌株の保存
パソコン一式	MacBookPro1.83D uoMA463J/A	2	視聴覚用機器	講義・実習講義のプレゼンテーション用
生物顕微鏡	CX31N-11	8	基礎実習専用機器	実習における細菌形態の観察
実体顕微鏡	SZ61-C-SET	12	基礎実習専用機器	実習における細菌コロニーの観察
ノートパソコン MacBook	MC240J/A	1	基礎実習・研究用機器	講義・セミナー・研究発表のプレゼン、資料作成
一眼レフ フリーアングルライプビューシステム	NY-E620	1	基礎実習・研究用機器	実習におけるコロニー形態の撮影
フリーザー付薬用保冷庫	MPR-414F	1	基礎実習・研究用機器	実習用試薬、バッファー等の保管
分析天秤	AB-265S/FACT11 139506	1	基礎実習・研究用機器	実習における試料、試料の重量測定
USBデジタル顕微鏡一式	1-8684-04	1	基礎実習・研究用機器	実習における細菌数、コロニー数の計測
Takara PCR Thermal Cycler Dice(グランジエント機能付)	TP600	1	基礎実習・研究用機器	病原細菌の解析
振とう培養用非接触濁度計	OD Box-A	1	基礎実習・研究用機器	実習用細菌の培養
ノートパソコンMacBook	MC240J/A	1	基礎実習・研究用機器	授業・実習の資料作成
デスクトップパソコン Mac mini	Education ZONN	1	基礎実習・研究用機器	講義実習のスライド・レジメ作成 研究データの解析
モノクロコピー・複合機一式	Satera MF7430	1	視聴覚用機器	配付資料作成等
ノートパソコン・MacBook Air	MJVM2J/A	1	視聴覚用機器	講義資料作成等
ノートパソコン・Mac mini 一式	MGEM2JA	2	視聴覚用機器	講義資料作成等

使用機器・器具等の名称・規格		台数	使用区分	使用目的
冷蔵庫	ST55W(B)	1	基礎実習・研究用機器	実習、実験用試薬の保存
冷蔵庫	ST55W(B)	1	基礎実習・研究用機器	実習、実験用培地・緩衝液の保存
卓上型 pH メーター	S220InLab	1	基礎実習・研究用機器	実習、実験用培地・緩衝液の調製
ハンディ型自動セルカウンター Scepter2.0	PHCC20060	1	基礎実習・研究用機器	実習で使用する培養細胞数の計測
パワーサプライ Mini-500	13859-51	1	基礎実習・研究用機器	実習で行う電気泳動で使用
連続分注器 Multipette E3X	4987 000.029	1	基礎実習・研究用機器	実習で使用する試薬の分注
デスクトップパソコン Mac mini		1	視聴覚用機器	配付資料作成等
SpectraMaxM2 マイクロプレートリーダー一式	#M2-R	1	基礎実習・研究用機器	実習における酵素活性測定
微量高速遠心機	CF16RX II	1	基礎実習・研究用機器	実習・実験試料の調製